

Mini Bass Reflex Enclosure KIT

ミニバスレフ・エンクロージャー 組み立てキット

ステレオ誌付録
5cmフルレンジ
ユニット専用

WP-707B-S2

組み立て説明書 Ver.1



KYORITSU
共立電子産業株式会社

難易度 ★★★☆ 製作時間 約1日

●必要な工具

- ・プラスドライバー
- ・ハンダこて
- ・ハンダこて台
- ・ニッパー
- ・ワイヤーストリッパー
- ・ラジオペンチ
- ・ピンバイスもしくは電動ドリル、ハンドドリル
- ・ドリルビット 2.5mm 5mm

●主な仕様

- ・スピーカーユニット口径 5cm
- ・外形寸法 幅78mm 高さ118mm 奥行き168mm
- ・重量 580g(スピーカーユニット込み 1台)

●お断り

本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良、性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合があります。予めご了承ください。
本機はキット商品です。完成時の性能・品質・安全に関するすべてのリスクは組み立てた方ご自身に負っていただくことをご承知ください。
当社はお客様の特定の目的にかなうことや、他の機器に対して損害なきことを一切保障することはできません。またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生じたいかなる種類の損害に対しても一切の責任を負うことはできませんのでご了承ください。

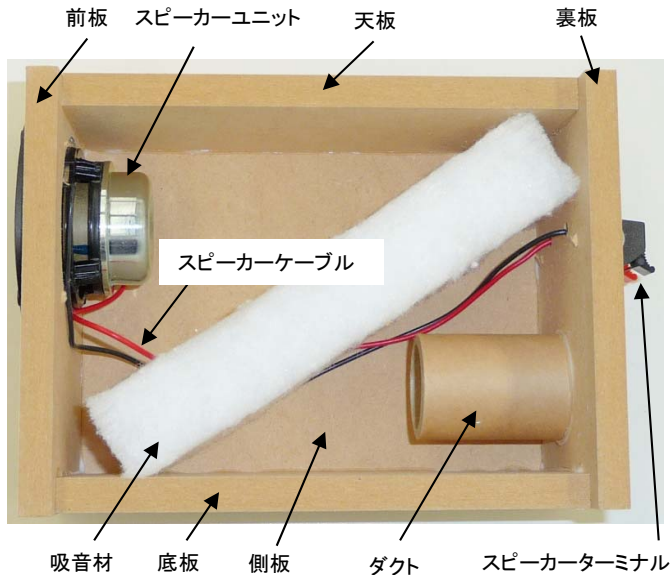
販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1

TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448

●内部構造



●ワンポイントアドバイス

- ・本機に採用している「MDF」材は、その性質上「オイル仕上げ」や「ワックス仕上げ」には適しません。水性もしくは油性塗料による「塗装仕上げ」をおすすめします。
塗装作業は組み立て工程⑥番のあとで行ってください。
- ・強度の弱いテーブルの上などに設置すると低音がダブついたり音の明瞭度が悪くなります。叩いてもボンつかないしっかりした机や家具の上に設置されることをおすすめします。
- ・デスクトップで使用される場合は、適当な「台」などでスピーカーの前方を少し持ち上げて「耳」の方向に向くよう角度調整すると高域の減少を抑えることができます。

●このキットに含まれるパーツ



●組み立て手順



- ① 「裏板」に「ダクト」を接着します
ダクトの全周にボンドをムラなく塗ります



裏板の穴に差込みます
時計方向に回転させながら押し込んでゆくとボンドが均一に付着します
ボンドの色が透明になるまで乾燥させます



- ② 「側板」に「天板」を接着します
天板の端面にボンドを均一に塗ります
側板に手で押し付けて接着します
段差が生じないように微調整しながらボンドが固まるまで約3~5分間押さえます
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます



直角定規などで2枚の板が正しく直角になっているか確認します
直角になっていないときはボンドが固まるまでに修正しておきます



- ③ 「側板」に「底板」を接着します
天板と同じ要領で底板を接着します
(天板と底板は同じものです)
側板と直角になるようにボンドが固まるまでに調整しておきます



- ④ もう片方の「側板」を接着します
天板および底板の端面にボンドを均一に塗ります
もう片方の側板を載せて、手で押し付けながら位置を合わせます



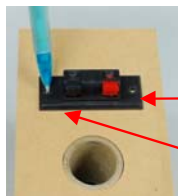
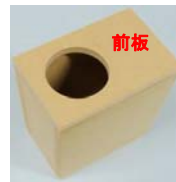
水の入ったペットボトルや本などを重石にして約半日自然乾燥させます
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます



- ⑤ 「裏板」を接着します
写真のようにスキマなくボンドを塗ります
裏板を載せて手で押し付けながら位置を合わせます
水の入ったペットボトルや本などを重石にして約半日自然乾燥させます
外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます



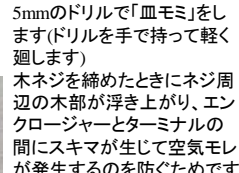
- ⑥ 「前板」を接着します
裏板と同じ要領です



- ⑦ 「スピーカーターミナル」をネジ止めするための下穴をあけます
裏板の穴にあわせてスピーカーターミナルを仮置きします(赤色の端子が「右」側になります)
鉛筆などでネジ穴の位置をマーキングします
その後、スピーカーターミナルを一旦取り外します



- 2.5mmのドリルで下穴をあけます(貫通穴)
写真ではピンバイスを使用していますが、電動ドリルやハンドドリルでもOKです
5mmのドリルで「皿モミ」をします(ドリルを手で持って軽く廻します)
木ネジを締めたときにネジ周辺の木部が浮き上がり、エンクロージャーとターミナルの間にスキマが生じて空気モレが発生するのを防ぐためです



- ⑧ スピーカーユニット用の下穴をあけます

ターミナル用の下穴と同じ要領です
スピーカーユニットを仮置きして、鉛筆などでネジ穴の位置をマーキングします

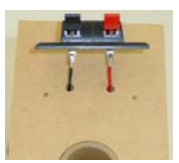


2.5mmのドリルで下穴をあけます(貫通穴)

5mmのドリルで「皿モミ」をします



- ⑨ スピーカーターミナルにスピーカーケーブルをハンダ付けします
ターミナルの色とケーブルの色を合わせます



- ⑩ スピーカーターミナルを取り付けます
ケーブルを裏板の穴に通し、付属のネジで固定します



- ⑪ 吸音材を入れます

スピーカーケーブルをスピーカー取付け穴から引き出しておきます
吸音材を少し丸めてスピーカーユニットの取付け穴から挿入します⇒表ページの「内部構造写真」のような位置になるようにします(これはあくまでも事例ですので、製作者の好みで吸音材の位置や量を調整してチューニングを楽しんでください)



- ⑫ スピーカー端子をラジオペンチなどで少し内側に曲げておきます

スピーカー取付け穴に引っかからない程度に曲げておきます



- ⑬ スピーカーユニットの端子にケーブルをハンダ付けします

端子には極性の表示がありますので(+側には(赤)を(-側には(黒)色のケーブルを接続します



- ⑭ スピーカーユニットを取付けます
付属のネジを対角線の順に少しずつ締め付けてゆきます

これで完成です
・アンプに接続して音が出るか確認してください